仙台市議会だより

Sendai city assembly

第151号
平成22年
第4回定例会号
http://www.gikai.city.sendai.jp
2011年(平成23年)2月発行
発行　仙台市議会
編集　仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1
年4回発行

地底の森ミュージアム

地底の森ミュージアムは旧石器時代を中心としたテーマミュージアムです。ここでは富沢遺跡から発掘された２万年前の旧石器時代の遺跡面を現地で保存し公開するとともに、発見された資料などから当時の環境と人間の活動を生き生きとよみがえらせる展示をしています。

大型補正予算を含む議案等34件が可決

（学校建設・大規模改修等、子宮頸（けい）がん等ワクチン予防接種の無料実施も）

年頭のごあいさつ

市民の皆様に新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、楽都仙台を象徴する仙台国際音楽コンクールが開催されたほか、本市で開催される国際会議としては過去最大規模となるＡＰＥＣ高級実務者会合が行われるなど、国際舞台にはばたき、仙台の都市の個性と魅力を発信できた年でした。一方で、北朝鮮の武力行使や尖閣（せんかく）諸島における中国漁船衝突事件など、日本を囲む東アジアの情勢に不安の募る年でもありました。

国内に目を転じると、経済と雇用における厳しい状況から脱却できない中、少子高齢化の進展、人口減少社会への突入が現実となってきました。

このような社会状況にあって、本市としては、東北の中枢都市として、東北新幹線の全線開業や自動車関連産業の県内への移転という明るい要素を積極的に生かした行財政運営が求められています。これとし策定される新総合計画は、まさに仙台の未来を切り拓く羅針盤となるものです。

市民の代表である本議会としても、地域の産業と生活を守る身近な存在として、皆様の声を市政に反映させる役割を十分に果たす決意を新たにし、より透明性を高め、開かれた議会へと変革していく議会改革を中断することなく、ことしもまい進する覚悟です。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のごあいさつといたします。

仙台市議会議員一同

議会改革検討会議の概要

本市議会における政務調査費および海外視察制度の早期の見直しを図るため、平成22年6月16日に議会改革検討会議が設置されました。17回にわたり検討が重ねられ、11月30日に座長である渡辺公一副議長から野田議長に答申されました。

政務調査費については、使途基準の見直しや交付手続の改善など使途の透明性の向上を柱とする今後の取り組みの方向性が示され、領収書等の閲覧制度と支出内容の第三者による検証制度の導入が盛り込まれました。また、現行の海外視察制度の廃止も盛り込まれました。

領収書等の閲覧制度を定めた政務調査費条例の改正が昨年の第４回定例会で可決され、さらに、平成23年5月2日からの運用開始に向けて政務調査費制度の改善の作業が続けられています。

第1回臨時会の概要

平成22年第1回臨時会が、11月29日、30日の2日間にわたり開かれました。

人事委員会の勧告に基づいて一般職の給料の額を引き下げるとともに、期末・勤勉手当を合わせた支給割合を、一般職員について年間で0・2ヵ月分、再任用職員について0・1ヵ月分引き下げるための条例改正案、市長など特別職の期末手当の支給割合を年間で0・15ヵ月分引き下げるための条例改正案など4議案が市長から提案され、採決の結果、すべての議案が可決されました。

また、議会から議員の期末手当の支給割合を0・15ヵ月分引き下げるための条例改正案、ＴＰＰ（環太平洋戦略的経済連携協定）参加への慎重な対応を求める意見書案を提出し、採決の結果、全会一致で可決しました。

会派別所属議員

平成22年11月30日付けで会派構成が左記のように変更となりました。

新しい翼
柿沼敏万
鈴木勇治
髙橋次男
庄司俊充
岡部恒司
橋本啓一
跡部薫
加藤和彦
岡征男
佐々木両道
熊谷善夫
庄子晋
郷湖健一
佐藤嘉郎

民主クラブ仙台
木村勝好
日下富士夫
安孫子雅浩
岡本あき子
佐藤わか子
池田友信
斎藤建雄
渡辺公一
村上一彦
横田匡人
小野寺健

改革フォーラム
田村稔
斎藤範夫
佐竹久美子
大内久雄
大泉鉄之助
鈴木繁雄
伊藤新治郎
赤間次彦
佐藤正昭

公明党仙台市議団
笠原哲
山口津世子
菊地昭一
嶋中貴志
鈴木広康
鎌田城行
小野寺利裕
小田島久美子

日本共産党仙台市議団
福島かずえ
花木則彰
嵯峨サダ子
ふなやま由美
高見のり子
すげの直子

社民党仙台市議団
辻隆一
小山勇朗
八島幸三
大槻正俊
石川建治
相沢和紀

無所属
野田譲

無所属※1
西澤啓文

無所属※2
菅原健

※1・※2：4面の会派別賛否一覧表に対応しています。